

日本リハビリテーション医学会近畿地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会カレンダー

平成19年3月21日(水・祝)9時30分～16時30分 日本リハ医学会近畿地方会第22回学術集会

会場：関西医科大学附属枚方病院13階講堂（大阪府枚方市新町2丁目3番1号）TEL：072-804-0101（代表）
京阪「枚方市」駅（特急停車）下車北西へ徒歩5分

認定単位数 3単位（別途、地方会参加1単位）、その他（日本整形外科学会専門医認定単位2単位）

担当幹事（第22回学術集会々長） 菅 俊光（関西医科大学附属枚方病院リハビリテーション科）

講演1. MRI拡散強調画像による脳内神経線維の評価ーリハビリテーションへの応用

東北大学大学院医学系研究科 機能医科学講座肢体不自由学分野 講師 近藤 健男 先生

講演2. Closed kinetic chainの理論と臨床応用

吉備国際大学 保健科学部 教授 河村 顕治 先生

講演3. 日米リハ比較ー祖国日本よ、これでいいのか、日本のリハビリテーションー

関西医科大学 リハビリテーション科教授 吉田 清和 先生

・平成19年4月以降の予定

平成19年6月9日(土)9時～12時：日本リハ医学会近畿地方会専門医・認定臨床医生涯教育講演会 (第44回日本リハ医学会学術集会 ポストコンGRESS)

会場：神戸国際会議場 2階 メインホール（〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1）

認定単位：3単位（一括）受講料：3000円（会場費別途1000円、第44回日本リハ医学会学術集会参加者は無料）

担当幹事：佐浦 隆一（兵庫県立リハビリテーション西播磨病院）

1. 逢坂 悟郎 先生(兵庫県立リハビリテーション西播磨病院) 地域リハビリテーションの展開(仮題)
2. 宮井 一郎 先生(森ノ宮病院) 脳の光トポグラフィー(仮題)
3. 本多 知行 先生(大阪市立北市民病院) 嚥下障害のリハビリテーション(仮題)

尚、講演順番は講師の都合により変更の可能性がありますので、ご注意下さい。

平成19年6月9日(午後)：市民公開講座(担当：中土幹事)

平成19年7月：日本リハ医学会近畿地方会第32回教育研修講演会(担当：今井幹事) 開催地 滋 賀

平成19年9月：日本リハ医学会近畿地方会第23回学術集会(担当：阿部幹事) 開催地 大 阪

平成19年11月：日本リハ医学会近畿地方会専門医・認定臨床医生涯教育研修会 開催地 兵 庫
(兵庫県リハ医学会学術集会と同一会場で開催)

平成20年2月：日本リハ医学会近畿地方会第24回学術集会(担当：中村幹事) 開催地 和歌山

編集後記

早いもので、いよいよ第44回日本リハビリテーション医学会学術集会(神戸国際会議場・展示場)の開催が近づいてきました。演題抄録の募集締切りは2007年1月23日です。もう、演題応募はお済みですか？

さて、7月の近畿地方会総会では組織改変を行い、7名の新しい幹事の先生に加わって頂きました。そして、初めて滋賀県から幹事を迎え、名実ともに近畿地方会となりました。新幹事の専門領域は異なりますが、リハ医学にかける熱意は大きく、新体制での出発後、代表幹事、副代表幹事を核に幹事全員が一丸となり、近畿地方会の存在を全国に発信すべく、地方会活動の充実、強化をはかっています。学術集会への参加とあわせ、皆様のご協力をおねがいします。

Newsletter第5号では、高次脳機能障害支援普及事業について鈴木恒彦先生にまとめていただきました。以前、

NHK特集で「高次脳機能障害」は「障害」と認知されず、医療からも福祉からもサービスが受けられないとナレーションされていましたが、支援普及事業による支援体制の整備が始まりました。今後の展開が期待されます。また、地域連携パスについて高橋紀代先生からご寄稿いただきました。「パス作製が目的ではなく、パスを連携のツール(手段)」に」という一文が印象的です。皆様如何でしょうか？

広報委員会では、会員の皆様のご希望、ご意見をお待ちしています。是非、地方会事務局(kinkikocho@pac.ne.jp)までお知らせ下さい。
(佐浦隆一)

